

さあ冬本番。販売店様と連携し、ガス切れ防止に努めます。

12月も半ばとなり山手では降雪がみられるようになりました。最高気温1ケタの日がでてきており、最低気温が氷点下となるのも間もなくのようです。早朝に出発する配送マンにとって、霜が降りたり凍結している路面の走行や、薄暗い中での容器交換作業に油断は禁物。十分に注意して事故や作業ミスを防ぎます。

さて、その昔、ガスの配送は、配送マンの「勘」に頼る部分が大きく、そのためガス切れでお客様にご迷惑をおかけすることも。その後コンピューターの導入により、お客様宅の消費量のデータなど様々な情報を駆使して配送予測ができるようになったので、ガス切れは随分減りました。それでも、お客様宅の急な消費量の変化、ガス器具やご家族が増えたことによる消費量の増加などは、わが社にその情報が届かないと、いくらコンピューターでも配送予測に反映できません。

右:シリンダー配送車



左:バルク配送車

ですから、今でも、残念ながらガス切れが起ってしまうことがあります。わが社ではこの「残念なガス切れ」を防ぐため、日頃より、消費量の変動について、販売店様との情報共有を図っており、この冬も、使いたい時に快適にガスを使って頂けるよう連携に努めてまいります。

社員の和の力を發揮し、私達はお客様に笑顔をお届けします。